

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

学校名	東京歯科大学
設置者名	学校法人東京歯科大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通科目	学部等 共通科目	専門 科目	合計		
歯学部	歯学科	夜・通信			70.6	70.6	19	
		夜・通信						

(備考) 本学の専門教育科目は授業時間制を取っており、機関要件の指針に基づき単位数換算した。単位換算方法は大学設置基準を踏まえ、講義 30 時間・実習 45 時間で 1 単位とした (換算資料は「実務経験のある教員等の授業科目一覧」に記載)。  
 ○実務経験のある教員等による授業科目の時間数合計：  
 臨床系及び隣接医学科目 1,455 時間 (41.8 単位換算) + 臨床実習 1,296 時間 (28.8 単位換算) = 70.6 単位換算

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本学 HP で公表 <a href="http://www.tdc.ac.jp/Portals/0/images/college/kyoumu/jitsumukeiken.pdf">http://www.tdc.ac.jp/Portals/0/images/college/kyoumu/jitsumukeiken.pdf</a> <a href="http://www.tdc.ac.jp/Portals/0/images/college/kyoumu/jitsumukeiken-plactice.pdf">http://www.tdc.ac.jp/Portals/0/images/college/kyoumu/jitsumukeiken-plactice.pdf</a>
---

3. 要件を満たすことが困難である学部等⇒該当なし

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

学校名	東京歯科大学
設置者名	学校法人東京歯科大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

本学HPで公表 <a href="http://www.tdc.ac.jp/college/introduction/tabid/108/Default.aspx">http://www.tdc.ac.jp/college/introduction/tabid/108/Default.aspx</a>
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	歯科医師	2019.4.1～ 2020.5.31	多様な経験・知見を 自律的な大学運営 に生かす
非常勤	歯科医師	2017.6.1～ 2020.5.31	多様な経験・知見を 自律的な大学運営 に生かす
非常勤	公立学校共済組合理事 長	2017.6.1～ 2020.5.31	多様な経験・知見を 自律的な大学運営 に生かす
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	東京歯科大学
設置者名	学校法人東京歯科大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業計画(シラバス)は、前年度の12～1月ごろに、授業計画の作成担当教員に、授業計画作成要領等を配付の上、編集依頼をしている。各担当教員の編集後、第三者の教員による確認作業を行っている。</p> <p>授業計画の作成上の基本となるカリキュラムプランニング、作成上の留意点等については、定期的にFD研修を実施している。</p> <p>授業計画は、3月末に内容を確定させ、4月初旬にWeb公開をしている。</p>	
授業計画の公表方法	本学HPで公表 <a href="https://syllabus.tdc.ac.jp/list/">https://syllabus.tdc.ac.jp/list/</a>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>本学では、アセスメントポリシーを定め、各授業科目のシラバスの「評価」の欄に、具体的な評価方法を記載し、その方法に基づき、厳格かつ適正な評価を実施している。以下にアセスメントポリシー(抜粋)の項目を示す。</p> <p>1) 評価の内容について、講義科目や演習科目では、知識とその応用力を評価します。実習・実技科目では、技能、態度、コミュニケーション能力等についても評価します。</p> <p>2) 評価の方法および評価の基準について、知識とその応用力は筆記試験、口頭試験、レポート提出等により、技能は実技試験等により、原則として、数値化して達成度を評価します。その他の能力は実習現場評価で可能な限り数値化できる評価法を用いて達成度を評価します。</p> <p>3) 臨床実習を行うことができる知識・技能・態度が備わっているか否かは、共用試験(CBTとOSCE)と科目試験、総合学力試験で判定します。</p> <p>4) GPA(Grade Point Average)による成績評価方法を導入し、学生個人および科目の達成度の評価に利用します。</p> <p>5) 科目試験合格判定や進級あるいは卒業時の判定に用いる試験に加え、到達目標に至る道程を明らかにするため、形成的評価を随時行います。</p> <p>6) 科目履修は出席することが前提です。各学年次の個々の講義・演習・実習科目を20%以上欠席した場合は、評価対象から外れます(詳細は別に示します)。</p> <p>7) 定期試験、総合学力試験、共用試験で、所定の到達目標に達しなかった場合は、再試験を行うことがあります。また科目試験、総合学力試験、共用試験を、正当な事由で受験できなかった場合は、追試験を行うことがあります(詳細は別に示します)。</p> <p>8) 進級・卒業の要件の詳細、各科目の可否基準の詳細は別に定めて年度当初に明示します。なお、試験の可否は期日を定めて学生に通知します。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本学歯学部は、GPA(Grade Point Average)制度をとり、その評価を0.0点から10.0点までとし、これを科目のGPとしている。</p> <p>学年の進級条件として、この全科目(講義と実習・実技を含む)のGPの総和を科目数で除したものをGPAとし、そのGPAが6.7点以上をもって合格としている。但し、4点未満の科目が3科目以上ある者は原級に留めることとしている。</p> <p>各学年の進級条件としては、科目試験の他に、総合学力試験等があり、下記のとおりである。</p> <p>1) 第1～3学年生の進級にあたっては、学年の科目試験(GPA制度)および総合学力試験のそれぞれに合格しなければならない。</p> <p>2) 第4学年生の進級にあたっては、学年の科目試験(GPA制度)および総合学力試験並びに共用試験C B T (Computer Based Testing)、共用試験O S C E (Objective Structured Clinical Examination)のそれぞれに合格しなければならない。</p> <p>3) - 1 第5～6学年生の進級・卒業にあたっては、総合学力試験および臨床実習のそれぞれに合格しなければならない。</p> <p>3) - 2 臨床実習は、GPA制度をとり、配属された全科のGPの総和を科目数で除したものをGPAとし、平均点そのGPAが6.7点以上をもって合格とする。但し、4点未満の科が3科以上ある者は原級に留める。</p> <p>上記の成績評価の客観的指標により、厳格かつ適正な進級・卒業判定を実施している。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	<p>本学HPで公表</p> <p><a href="http://www.tdc.ac.jp/Portals/0/images/college/kyoumu/moushiawase2019.pdf">http://www.tdc.ac.jp/Portals/0/images/college/kyoumu/moushiawase2019.pdf</a></p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>策定した教育課程を通じて、歯科医師としての基本的な知識、技能、態度を修得するとともに、生涯研修・研究を行う態度、問題発見・解決能力を身につけることを学位授与の方針としています。</p> <p>1) 医療人としての高い倫理観や人間性・協調性を身につけ、多様性の中で常に向上しようと努力する人。</p> <p>2) 医学・歯科医学を統合的に理解して全人的な歯科医療を提供するために必要な基本的知識と技能を修得している人。</p> <p>3) 積極的な自主学修態度と論理的思考および問題発見・解決のための基本的な能力を身につけている人。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	<p>本学HPで公表</p> <p><a href="http://www.tdc.ac.jp/college/introduction/tabid/191/Default.aspx">http://www.tdc.ac.jp/college/introduction/tabid/191/Default.aspx</a></p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

学校名	東京歯科大学
設置者名	学校法人東京歯科大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="http://www.tdc.ac.jp/college/information/tabid/492/Default.aspx">http://www.tdc.ac.jp/college/information/tabid/492/Default.aspx</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="http://www.tdc.ac.jp/college/information/tabid/492/Default.aspx">http://www.tdc.ac.jp/college/information/tabid/492/Default.aspx</a>
財産目録	<a href="http://www.tdc.ac.jp/college/information/tabid/492/Default.aspx">http://www.tdc.ac.jp/college/information/tabid/492/Default.aspx</a>
事業報告書	<a href="http://www.tdc.ac.jp/college/information/tabid/492/Default.aspx">http://www.tdc.ac.jp/college/information/tabid/492/Default.aspx</a>
監事による監査報告(書)	<a href="http://www.tdc.ac.jp/college/information/tabid/492/Default.aspx">http://www.tdc.ac.jp/college/information/tabid/492/Default.aspx</a>

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称: )	対象年度: )
公表方法:	
中長期計画(名称: )	対象年度: )
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: 本学 HP で公表 <a href="http://www.tdc.ac.jp/college/information/tabid/207/Default.aspx">http://www.tdc.ac.jp/college/information/tabid/207/Default.aspx</a>
--

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: 本学 HP で公表 <a href="http://www.tdc.ac.jp/Portals/0/resources/college/information/pdf/hyoka2015-tdc.pdf">http://www.tdc.ac.jp/Portals/0/resources/college/information/pdf/hyoka2015-tdc.pdf</a>
--

(3) 学校教育法施行規則第172条の2第1項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 歯学部
教育研究上の目的 公表方法: 本学 HP で公表 <a href="http://www.tdc.ac.jp/college/information/tabid/204/Default.aspx">http://www.tdc.ac.jp/college/information/tabid/204/Default.aspx</a>
(概要) 東京歯科大学は、歯学に関する専門の学術を教授研究すると共に、豊かな教養と高い人格を備えた人材を養成し、もって人類の福祉に貢献することを目的とする。 (東京歯科大学学則第1条に記載)
卒業の認定に関する方針 公表方法: 本学 HP で公表

<http://www.tdc.ac.jp/college/introduction/tabid/191/Default.aspx>

(概要)

本学の教育課程を通じて、歯科医師としての基本的な知識、技能、態度を修得するとともに、生涯研修・研究を行う態度、問題発見・解決能力を身につけることを学位授与の方針としています。

- 1) 医療人としての高い倫理観や人間性・協調性を身につけ、多様性の中で常に向上しようと努力する人。
- 2) 医学・歯科医学を統合的に理解して全人的な歯科医療を提供するために必要な基本的知識と技能を修得している人。
- 3) 積極的な自主学修態度と論理的思考および問題発見・解決のための基本的な能力を身につけている人。

教育課程の編成及び実施に関する方針 公表方法：本学 HP で公表

<http://www.tdc.ac.jp/college/introduction/tabid/191/Default.aspx>

(概要)

本学は、建学の精神である「歯科医師たる前に人間たれ」を基本に、歯科医師としての知識・技能だけでなく、高い倫理観や人間性・協調性の醸成を柱とした教育課程を編成しています。また、他領域との連携やグローバルな規模で活躍できる人材を育成するため、問題基盤型学修やグループ討論を通じて、積極性・能動性・協調性を伸ばす教育課程を編成しています。

1. 教育内容

- 1) 医療人としての高い倫理観や人間性・協調性を醸成するために、ダイアゴナル・カリキュラムに基づく6年一貫コミュニケーション教育を推進します。
- 2) 歯科医学専門科目を十分に理解するために、必要な基礎知識の修得を目的として個々の習熟度に応じた教養教育のカリキュラムやITリテラシー教育を実施します。
- 3) 医学・歯科医学を統合的に理解して全人的な医療を提供するために、ITを活用した豊富な教育資源を活用した医学系科目を含む多元的かつ重層的な専門科目のカリキュラムを実施します。
- 4) 国際人としての素養を身につけるために、姉妹校における海外研修を推進します。
- 5) 研究マインドを備えた歯科医療人となるために、卒業論文研究を推進します。

2. 教育方法

- 1) 主体的な学びの力を高めるために、アクティブラーニング（能動的学修：グループ・ワーク、ディベート、体験学修、調査学修、等）を取り入れた教育方法を教養教育、ITリテラシー教育、専門科目、海外研修、卒業論文研究で実施します。
- 2) 積極的な自主学修態度と論理的思考および問題発見・解決能力を修得するために、問題基盤型学修カリキュラムを主に専門科目で実施します。
- 3) 質の高い歯科医療を提供するために、充実した臨床基礎実習と特色ある本学の3病院における診療参加型臨床実習を実施します。
- 4) 積極的な自主学修の習慣を形成するために、充実した環境を整備します。

3. 評価

- 1) 学修成果を総合的かつ客観的に評価するために、歯科医療の実践に必要な知識については、各学年終了時に6年間一貫した総合学力試験を軸とする総括的評価を行います。
- 2) 歯科医師として必要な技能については、臨床基礎実習での技能評価と診療参加型臨床実習での技能評価をもって総括的評価を行います。
- 3) 歯科医師として必要な態度については、第1～4学年のコミュニケーション学での観察記録を軸とする態度評価と診療参加型臨床実習での態度評価をもって総括的評価を行います。

入学者の受入れに関する方針 公表方法：本学 HP で公表

<http://www.tdc.ac.jp/college/introduction/tabid/191/Default.aspx>

(概要)

建学の精神である「歯科医師たる前に人間たれ」を基本に、人物・学力ともに優秀で、将来、国民医療に貢献する歯科医療担当者としての能力・適性を十分に有する人を求めています。

- 1) 医療人としての倫理観や高い人間性を、常に向上心をもって追求しようと努力している人。
- 2) 歯科医学を学ぶための十分な資質と基礎学力を有している人。
- 3) 口腔の健康管理を通し、国民の医療と福祉に貢献しようとする意欲がある人。
- 4) 様々な問題に対して広い観点から考え、判断し、解決しようと努力できる人。
- 5) 他者との協調を大切にし、主体性を持って多様な人々と協働することができる人。

入学までに身につけておいてほしいこと

本学では建学の精神に則り、口腔の健康管理を通して国民医療に貢献するために、高度な知識、技能だけでなく医療人としての倫理観や高い人間性、他者との協調性を兼ね備えた歯科医療担当者の育成を目指しています。

本学に入学を希望する諸君はこのことを理解し、本学指定の受験科目だけでなく高等学校で必修になっている科目を十分に学び、歯科医学を修得するための資質と基礎学力を身につけてください。入学者選抜にあたっては、出願時の提出書類、学力試験・小テスト、小論文、面接により、学力の3要素「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を総合的に評価します。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：本学 HP で公表

<http://www.tdc.ac.jp/college/information/tabid/204/Default.aspx>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	3人	—					3人
歯学部	—	62人	45人	78人	125人	0人	310人
	—	人	人	人	人	人	人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		576人					576人
各教員の有する学位及び業績（教員データベース等）		公表方法：本学 HP で公表 <a href="http://www.tdc.ac.jp/college/information/tabid/493/Default.aspx">http://www.tdc.ac.jp/college/information/tabid/493/Default.aspx</a>					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
歯学部	140人	128人	91.4%	840人	854人	101.7%	若干名	8人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	140人	128人	91.4%	840人	854人	101.7%	若干人	8人
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
歯学部	127人 (100%)	0人 (0%)	0人 (0%)	127人 (100%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	127人 (100%)	0人 (0%)	0人 (0%)	127人 (100%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)

学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)

授業計画(シラバス)は、前年度の12~1月ごろに、授業計画の作成担当教員に、授業計画作成要領等を配付の上、編集依頼をしている。各担当教員の編集後、第三者の教員による確認作業を行っている。

授業計画の作成上の基本となるカリキュラムプランニング、作成上の留意点等については、定期的にFD研修を実施している。

授業計画は、3月末に内容を確定させ、4月初旬にWeb公開をしている。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) 各授業科目のシラバスの「評価」の欄に、具体的な評価方法を記載し、その方法に基づき、厳格かつ適正な評価を実施している。 成績評価の基準は、学則、試験規程、教授会申し合わせ事項に、合格基準点や欠席の場合の追試験、不合格点の場合の再試験、進級条件などを定めている。				
学部名	学科名	卒業に必要な 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
歯学部	歯学科	60 単位+5123 時間	有・無	
		単位	有・無	単位
GPAの活用状況 (任意記載事項)		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：本学 HP で公表 <a href="http://www.tdc.ac.jp/college/introduction/tabid/116/Default.aspx">http://www.tdc.ac.jp/college/introduction/tabid/116/Default.aspx</a> <a href="http://www.tdc.ac.jp/college/introduction/tabid/118/Default.aspx">http://www.tdc.ac.jp/college/introduction/tabid/118/Default.aspx</a>
--

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
歯学部	歯学科	3,500,000 円	600,000 円	5,300,000 円	
		円	円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 学生生活を経済的に援助することを目的とした独自の奨学金制度として、学業・人物が優れている者に学資の一部を給付する「特別奨学金制度」や、経済的理由により修学が困難な学生に所定の金額を貸与する「東京歯科大学貸与奨学金」その他提携学資ローンの借入利息の一部を補給する「東京歯科大学利子補給奨学金制度」を設けている。 また、非常災害被災者や経済的に修学が困難で本学の定める基準に該当する者に学費を減免する「東京歯科大学授業料減免制度」や学内において教育支援活動や自身の社会的向上に資する活動に従事する学生に対して、報奨と学業奨励の観点から奨学金を給付する「ワークスタディ奨学金制度」などの奨学金制度の充実を図り修学に係る支援の取り組みを行っている。 課外活動においては、千葉キャンパスに体育館、合宿棟やグラウンド、テニスコート、弓道場、千葉市若葉区に野球グラウンドを整備、また、水道橋キャンパスには、学生活動室・道場などの課外活動施設やラウンジを各棟におき、快適で実りある確かな空間が学生生活を支えている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組

(概要)

歯科医師臨床研修においては、その到達目標を踏まえ、附属3施設において充実したプログラムを構築している。また、研究や実技修練への道が開かれており、大学院歯学研究科への進学をはじめ、専修科生の制度、さらには研究を行い論文を提出し、博士号の請求をおこなうことができる専攻生や短期間の研究を行う研究生などの制度の充実をはかり、進路支援に係る支援に取り組んでいる。

c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

(概要)

学生の健康保持や増進のため学校保健法で定められた定期健康診断を実施するとともに保健安全管理委員会においては、学生の健康管理に十分注意を払い速やかに対応をしている。

また、体調の悪い学生には本学の附属施設で受診ができる体制を整えており、24時間体制で学生の病気や怪我、事故などの対応ができるようになっている。

入学から卒業まで学生生活を充実しておくことができるような健康管理体制をとっており、その対応もきめ細かく配慮している。

#### ⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：本学 HP で公表

<http://www.tdc.ac.jp/college/information/tabid/204/Default.aspx>

<http://www.tdc.ac.jp/college/information/tabid/206/Default.aspx>